

2・1 外部環境の客観的分析と戦略反映(外部環境分析)

コンサルタントは、コンサルティングに入る前に、その企業を取り巻いている外部環境、その変化等に注目し、事業の基本的方向を探ります。その方向と対象企業の目指そうとしている方向を比較し、適切なアクションを取っているかどうかを判断するわけです。

企業の環境は常に変化します。よって企業も柔軟に変化対応すべきです。どう変化すべきかを考えるのが企業経営者の一番の役割です。そこへの支援を行うのがコンサルタントです。当然幅広い視点が必要になるでしょう。マクロ、ミクロの体系的視点からの分析と、それらの組み合わせを行うことで漏れない検討につながります。SWOT分析等との組み合わせも行うと良いでしょう。

